

市民のみならずまじり

笑顔あふれる出雲のまちづくり



このたび市民のみなさまのご信任をいただき、新出雲市長として市政を担うこととなりました。改めて市長の責任の重さと、みなさまの期待の大きさに身が引き締まる思いです。また、自らが最終決定権者であるという自覚、そして覚悟を言い聞かせたところであります。

合併から4年が経過し、多くの市民のみなさまとお話するなかで、市政や市役所への不信感を抱かれていることを痛感いたしました。私は、まず、市民のみなさまに信頼される透明で、公平公正な市政・

市役所を取り戻すことに、職員と一丸となって取り組む考えです。そのためには合併協議で掲げた「市民が主役のまちづくり」を目指し、徹底した行政情報の公開により、「明らかに変わった」とみなさまに実感していただけるような市政運営をすることが重要と考えています。

今、出雲市には財政問題、産業振興などさまざまな課題が山積みしています。これらを一つ一つ着実に解決し、正しい方向へと舵取りをするのが私に課せられた使命です。この取り組みの中で、先人が残してくれたふるさと出雲の誇るべ

き歴史・文化・伝統を大切に、暮らしの中に「出雲らしさ」を実感できるまち、市民のみなさまとともに笑顔あふれる出雲をつくりあげることが目指してまいります。

そのために30年を超える私の行政経験のすべてを投じ、市民のみなさまの声を傾け、足元を見つめながら、合併2期目の新たな市政運営に当たってまいります。

みなさまの格別のご理解とご協力をお願いし、就任に当たってのあいさついたします。

出雲市長

長岡 秀人

ふるさと出雲の誇るべき歴史・文化・伝統を大切に 真の意味で「出雲のブランド化」実現に向けて

長岡市政がスタート

市民が主役の

まちづくりを目指して

市民のくらしを守る緊急経済対策、財政の健全化、出雲のブランド化や新エネルギーの導入等による産業振興、福祉・子育て・教育の充実など、市民のみなさまの声を傾け取り組んでまいります。そして「市民が主役のまち出雲」を実現します。

透明で、公平公正な市政運営を目指します。

開かれた市政の実現を目指し、市民のみなさまへの情報公開を徹底、そして、市民のみなさまの声をより直接的に汲み取るシステムを構築していきます。

また、時間がかかるとは思いますが、住民投票制度の常設化を含めた、自治基本条例の制定による住民参加型の市政の実現をめざします。

なお、阿國座については、多くのみなさまが反対されていることから建設しません。今後、議会と話し合い、これまで使った予算や棚上げとなつてい

る予算などの処理を適切に行います。

信頼される市政・市役所をつくりま

3S

シンプル＝市民にわかりやすく

スピード＝短時間であらゆる検討。そしてすばやい対応を

スマイル＝笑顔で心を込めた対応を

点を徹底します。1点目は、職員が「目、耳、そして心」を行政の内に向けているのではなく、正面から市民のみなさまに向かい合うこと、2点目は、「3CのS」＝「3S」で対応するということです。

新副市長・新教育長の横顔 [任期 平成21年5月1日～平成25年4月30日]

副市長

くろめ しゅんさく
黒目 俊策 (60歳)



職歴

昭和48年(1973) 7月 出雲市職員に採用
平成 元年(1989) 6月 総務部秘書課長
平成 5年(1993) 1月 企画財政部付次長
平成 5年(1993) 4月 出雲市外6市町広域事務組合事務局長
平成 8年(1996)10月 企画財政部長
平成 9年(1997) 4月 産業振興部長
平成11年(1999) 4月 財政部長
平成13年(2001) 4月 建設事業部長
平成14年(2002) 4月 総務部長
平成17年(2005) 3月 出雲市教育委員会教育次長
平成17年(2005) 5月 出雲市教育委員会教育長
平成21年(2009) 5月 出雲市副市長

教育長

なかお かずひこ
中尾 一彦 (57歳)



職歴

昭和49年(1974) 7月 出雲市職員に採用
平成 5年(1993) 4月 福祉環境部総合福祉カードセンター課長
平成 8年(1996) 4月 出雲市教育委員会生涯学習課長
平成11年(1999) 4月 総務部次長
平成13年(2001) 4月 文化企画部次長
平成15年(2003) 4月 出雲市外6市町広域事務組合事務局長
平成17年(2005) 3月 産業振興部長
平成20年(2008) 4月 産業観光部長
平成21年(2009) 5月 出雲市教育委員会教育長